

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】令和 2 年 10 月 15 日 (2020.10.15)

【公開番号】特開 2017-78710 (P2017-78710A)  
 【公開日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)  
 【年通号数】公開・登録公報 2017-017  
 【出願番号】特願 2016-177532 (P2016-177532)  
 【国際特許分類】

G 0 1 S 7/524 (2006.01)

G 0 1 S 15/93 (2020.01)

B 6 0 W 30/06 (2006.01)

【F I】

G 0 1 S 7/524 R

G 0 1 S 15/93

B 6 0 W 30/06

【誤訳訂正書】  
 【提出日】令和 2 年 9 月 1 日 (2020.9.1)  
 【誤訳訂正 1】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0 0 0 9  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【0 0 0 9】

図 3 に示すように、2 つの電源端子 (V b a t 及び G N D) の他に、例示の超音波センサのそれぞれは、単一の入力 / 出力 (「I / O」又は「I O」) ラインによって E C U 2 0 2 に接続されている。センサの接地端子 (G N D) は、特定用途向け集積回路 (A S I C) センサコントローラ 3 0 2 の接地端子に直接接続されるように示される一方、V b a t 端子は、R C フィルタ (抵抗器 R 2 及びコンデンサ C 7) 並びにダイオード注入型 (D 1) 蓄積コンデンサ C 8 を介して、センサコントローラ 3 0 2 の供給電圧 (V S U P) 端子に連結されている。R C フィルタは、任意の高周波雑音をさえぎる一方、蓄積コンデンサは、一時的な電力損失を防ぐ。

【誤訳訂正 2】  
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲  
 【訂正対象項目名】全文  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

単一の入力 / 出力ライン上でトリガ信号を検出することと、  
前記トリガ信号に応じて、前記単一の入力 / 出力ライン上で少なくとも 1 つの状態ビットを、変換器からのセンサ信号の雑音レベルがしきい値を超えるか否かを示すために、提供することと、

前記少なくとも 1 つの状態ビットを提供することの後、前記センサ信号におけるエコーパルスの検出された持続時間に等しいパルスの持続時間を有するパルスで前記単一の入力 / 出力ラインを駆動することと、を含む、センサ制御方法。

【請求項 2】  
 前記変換器で送信パルスを送ることを更に含み、

前記少なくとも 1 つの状態ビットを提供することは、前記送ることの間に生じる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

超音波変換器を駆動して、送信パルスを生成する送信部と、

前記変換器からセンサ信号を導出する受信部と、

単一の入力／出力ライン上でトリガ信号を検出し、前記単一の入力／出力ライン上で 1 つ以上のエラー報告ビットを応答的に提供した後、前記センサ信号におけるエコーパルスの検出された持続時間に等しいパルス継続時間を有するパルスで前記単一の入力／出力ラインを駆動するコアロジックと、を備え、前記 1 つ以上のエラー報告ビットは前記センサ信号の雑音レベルがしきい値を超えるか否かを示す、センサコントローラ。

【請求項 4】

前記コアロジックは、前記送信部を更に動作させて、前記トリガ信号に応じて前記送信パルスを生成し、前記 1 つ以上のエラー報告ビットは、前記送信パルスの生成中に提供される、請求項 3 に記載のコントローラ。

【請求項 5】

前記コアロジックは、前記変換器の残響時間をモニタし、前記 1 つ以上のエラー報告ビットは、前記残響時間が限度内か否かを示す、請求項 4 に記載のコントローラ。

【請求項 6】

前記コアロジックは、複数の潜在的なエラー状態をモニタする、請求項 4 に記載のコントローラ。